

地域探究類型、研究発表を行いました！

【令和7年6月13日】

地域探究類型の2年生が3グループに分かれ、「東濃高校の昔と今」、「昔の学校生活」、「戦時中の東濃高校」というテーマで調査・研究を行い、発表を行いました。



発表当日、御嵩町の中山道案内人「偲歴会」のメンバーの一人である廣瀬吾郎様、そして廣瀬様とつながりがあり地域貢献活動に関わる皆様にお越しいただき、ご高評



をいただきました。生徒たちは研究や発表を通して、東濃高校や地域社会を築いてきた先輩方への感謝と、御嵩町を豊かにして

いきたいという気持ちを語りました。発表の後、廣瀬様より、『地域のことを「知る・学ぶ」と面白くなってくる』という題目で講話をして

いただきました。明治時代初期、学力の向上が期待されるなか、各県1校の中学校ができ、やがて岐阜県尋常中学校東濃分校できたこと、加えて旧制東濃中学が設立された背景には地域の人々の熱意があったことを教えていただきました。生徒たちは



講話を通して、よりよい未来の実現に向けて、今できることを考え、次世代に繋いでいくことの大切さを学びました。

